

なかの むら 実 中村みなのる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

市川児童相談所

船橋支所を設置へ

児童の健全育成へ きめ細やかな対応

中村実県議(船橋市選出、2期)は2月定例県議会で登壇し、県の施策について県執行部に質問しました。次代を担う青少年の健全な育成に力を注ぐ中村県議ですが、一般質問では児童相談所の体制強化を取り上げ、設置が計画されている市川児童相談所船橋支所の目的、効果について質問。また、母子家庭の養育費確保のために公正証書作成を支援すべきとして、県当局による検討を要望しました。中村県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。



2月定例県議会で一般質問を行う中村実県議

2月定例県議会一般質問

中村議員 令和3年度の組織の見直しにおいては、児童相談所の体制強化と

て、国の児童虐待防止対策体制強化プランや、県の児童虐待防止緊急対策に対応

するため、児童相談所の児童福祉司、児童心理司等を増員するとともに、児童相

談所に新たな組織を設けるとの発表があった。船橋市には、市川児童相談所の船橋支所が設置される。

そこで質問するが、市川児童相談所船橋支所は、どのような目的で設置するのか。また、当該支所を設置することにより、どのような効果があるのか。

健康福祉部長 県では、児童虐待相談対応件数の増加に対し、児童相談所の体制強化を図るため、職員を計画的に増員しています。このため、現在の市川児童

相談所は執務室が狭隘化し、また、面接室などの施設の確保が課題となっています。

これを解決し、事務の効率化を図るため、船橋市にある県消費者センターの一部を活用し、船橋市の案件を担当する船橋支所を令和3年中に設置するとともに、適切な組織マネジメントを行うため、支所長を置くこととしました。

船橋支所の開設により、児童の安全確認、援助方針決定に向けた各種調査、心身障害相談などにおいて、児童や保護者に対し、きめ細やかな対応ができるようになりますと考えております。

養育費等の取り決め

公正証書の活用を

中村議員 ひとり親家庭における養育費は、子どもの健やかな成長を支えるとともに、経済的な問題の解決につながる側面もあり、養育費の確保に向けた支援は重要なものと考えます。

養育費の取り決めに関して、一定の条件を満たす公正証書を作成しておけば、実際に支払ってもらえない際には、強制執行の手続きを利用することができます。

養育費の取り決めにかかる公正証書の作成費用を助成する自治体も出てきている。そこで、養育費の確保のために、県と

しても、養育費の取り決めを公正証書にすることに方向けた支援が必要と考えるかどうか。

健康福祉部長 養育費の取り決めについて、強制力を有する公正証書等を作成しておくことは、支払いが滞ったときに有効であるものと認識をしております。

このため、県では、市町村窓口で、離婚する夫婦に対して養育費等の取り決めや公正証書の活用を説明するパンフレットの配布を促すとともに、県が実施する養育費確保のための無料法律相談においても助言しているところです。

なお、公正証書も含め、養育費の確保に向けて、どのような公的支援が必要かについては、現在、国が、調査研究を行っているところであり、今後、国の動向等を注視して支援のあり方について検討してまいります。

中村みなのるプロフィール

経歴

- 昭和42年9月生まれ 西海神小、葛飾中、県立八千代高、中央大学法学部法律学科卒業
- 平成3年4月 住友重機械工業入社
- 平成11年4月 船橋市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成27年4月 県議会議員初当選 (2期連続当選)

現職

- 県議会 環境生活警察委員会委員

中村議員 母子家庭において、養育費を確保していくことは大変重要なことだと考えているので、今後の国の動向等を注視して、県としても養育費の確保に向けた支援をしっかりと検討するよう要望する。

中村みのる 県議会報告

- 月曜日** リクエスト対応
- 火曜日** 下総中山駅南口
- 水曜日** JR船橋駅北口
- 木曜日** JR津田沼駅北口
- 金曜日** 西船橋駅北口

時間はいずれも午前6時30分～8時30分(公務のために変更の場合もあります。)

千葉県犯罪被害者等支援条例

中村議員ら提案、可決

犯罪によって有形無形の被害を受ける被害者の救済を目的とした「千葉県犯罪被害者等支援条例」案が中村実議員らちば自民党議員によって2月定例会県議会に議員提案され、可決成立しました。

千葉県における刑法犯罪認知件数は令和元年で4万1793件発生し、全国ワースト5位でした。また、千葉県犯罪被害者支援センターでの相談等件数は2011年度の相談等件数は2011年1件と、増加傾向にあります。

命を奪われ、体を傷つけられ、さらに財産を奪われたりする犯罪被害者やその家族、遺族はその後も警察への届出や裁判への参加などの対応に追われ、さらに心無い者の言動などによる二次被害に苦しめられることもあります。

「千葉県犯罪被害者等支援条例」は、そのような犯罪被害者を支援するための条例で、犯罪被害の早期回復・軽減、犯罪被害者等の生活再建などを後押しします。

2月定例会県議会に提案された「千葉県犯罪被害者等支援条例」案は環境生活警察常任委員会に付託され、審議されました。提案者として中村実委員は議案の趣旨を訴え、質疑に丁寧に答弁して、委員会の合意に力を注ぎました。

生活再建などを後押しします。2月定例会県議会に提案された「千葉県犯罪被害者等支援条例」案は環境生活警察常任委員会に付託され、審議されました。提案者として中村実委員は議案の趣旨を訴え、質疑に丁寧に答弁して、委員会の合意に力を注ぎました。

要望 おける施策を効果的に推進してまいります。
中村議員 今後、総合計画をはじめとする様々な計画を作成すると思つて、総合計画を作成するSDGsは、国連で作成していることから、先進国発展途上国の課題解決に向けた目標であると思つて、その際SDGsの理念は尊重しつつも、千葉県に適した施策のみを取り入れて計画等を作成していただきたい。

要望 中村議員 商店街の取組は、まちの魅力を高め、地域の活性化につながるものであり、今後も支援を推し進めるよう要望する。

安全安心のために行う様々な取組に対し、今後も、市町村や商工会、商工会議所等と連携しながら、しっかりと支援してまいります。
中村議員 商店街の取組は、まちの魅力を高め、地域の活性化につながるものであり、今後も支援を推し進めるよう要望する。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs 理念尊重 施策は選択が必要

中村議員 SDGs(エス・ディー・ジーズ)には大切な目標、そしてゴールが明記されており、

その達成に向けて次世代への責任を果たすことは重要である。SDGsの5番目の目標「achieve gender equality and empower all women and girls」

ある。この詳細を読むとおよそ、我が国の女性に当てはまらない状況の克服が明記されている。大きな目標としての「gender equality」に注目して、

「誰一人取り残さない」社会を目指すSDGsは、県民みんなの活躍」の実現を目指す県政の方向と軌を合わせるものと認識しています。

中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。
中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。

中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。
中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。

森田知事

「尊い犠牲忘れず」

終戦記念日に靖国参拝

中村議員 昨年8月15日の終戦の日、靖国神社に降り立った知事の耳に歓声

と拍手が届いたと思つた。毎年、知事はどのような思いで参拝しているのか。

知事 戦後、我が国は平和を願う国民の英知とたゆみない努力によって、

多くの困難を乗り越え、今日の平和で豊かな社会を実現してまいりました。

しかしながら、私たちが、当たり前だと思つている社会は、戦争で亡くなられた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであるということを決して忘れてはならない

と考えております。私は、愛する者を守るため不幸にも尊い命を落とされた方々に対し、哀悼の意を表するとともに、この平和な社会を次世代に引き継いでいかなければならない。その思いから、毎年、靖国神社に参拝しております。

中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。
中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。

中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。
中村議員 今後のように施設整備の支援に取り組んでいくのか。

● 県政と船橋市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

中村みのる

県議 事務所

TEL.047(433)4047 FAX.047(433)4024

〒273-0031 船橋市西船4-29-17 ルーラル5番館1F